（様式3）

令和３年度（2021年度）公共事業再評価調書

基準年月日	令和３年８月１日

調書番号	07-04	所管部	水産林務部	作成責任者	水産林務部水産局漁港漁村課長　山谷　公二
				担当係	事業係（内）２８－３２４

Ⅰ　基本事項（基準日時点）

事業種別	漁港海岸保全事業費（高潮対策事業）	地区名	オッカバケ	市町村名	羅臼町

事業費	1,416 百万円	負担割合	国 55.0% 779 百万円	道 45.0% 637 百万円	市町村 百万円	その他 百万円

事業目的・目標

オッカバケ漁港海岸は、根室沿岸の北部に位置し狭い背後地には、民家等が建ち並び、唯一の生活道路である道道知床公園羅臼線が控え、オッカバケ漁港を中心とした集落が形成されている。事業箇所は背後地防護施設として消波堤が整備されているものの施設高が低いことから、近年頻発する爆弾低気圧等による越波が多発し家屋等の損壊被害が発生しているため、護岸を整備するものである。

【アウトカム】等
●波浪による浸水被害を防護する区域
浸水防護面積　1.0ha→0ha

事業概要

消波堤が整備されている施設高が低いL=128.4mの区間について、越波対策として護岸の整備を行うものである。

工事費内訳

		（百万円）前回評価	（百万円）今回評価
計画延長	L=128.4m		
護岸	L=128.4m	580	1,283
測量設計費	1式	55	133
計		635	1,416

総合計画での位置付け

施策名	栽培漁業の推進や経営の安定化等による水産業の振興	総合計画：大項目	経済・産業
総合計画：中項目	農林水産業の持続的な成長	総合計画：小項目	水産物の安定的供給を担い地域を支える活力ある水産業・豊かな漁村づくり
施策目標	水産資源・漁場の適切な管理や秩序ある利用、栽培漁業の推進などにより漁業生産の早期回復と安定化を図るほか、日本海地域で養殖業を中心とした新たな生産体制づくりを進め、漁家経営の安定化を図る。また、漁港漁村の防災力強化対策を推進し、安全で活力ある漁村を構築する。	関連する指標	-

Ⅱ　公共事業評価経過

事業経過	事業採択	着手	評価年度	完了予定	経過年数	事業費	総事業費(a)	道負担額	当該年度事業費	累計事業費(b)	進捗率(b)/(a)
事前評価又は当初	H26 (2014)	H26 (2014)		H36 (2024)			635	286			
前回評価											
今回評価	H26 (2014)	H26 (2014)	R3 (2021)	R8 (2026)	7		1,416	637	28	859	61%

変更理由・内容

台風・爆弾低気圧等の通過により、船揚場設置位置の水深が深くなったことによる施工断面の拡大、並びにコンクリートの増量による事業費の増
事業費の増額に伴う完了予定年度の延伸

Ⅲ　事業採択前の状況

1．事業採択に至る経過と背景

●施設被害状況
H18年（2006年）　1月：低気圧に伴う高潮により越波が発生
H18年（2006年）10月：低気圧に伴う高潮により越波が発生
H18年（2006年）12月：低気圧に伴う高潮により越波が発生

2．事業検討の手続（住民ﾆｰｽﾞの把握等）

●S43年（1968年）11月　海岸保全区域指定（告示番号：第 2464号、告示年月日：S43年（1968年）11月29日）
●H22年（2010年）　8月　羅臼町地域防災計画策定。
●H26年（2014年）　4月　事業採択

3．事業効果を及ぼす地域・対象

●防護区間：１２８．４m　●防護面積：　１．０ha　●防護人口：　１１　人
●家屋　：　４　棟　●その他　：　８　棟　●公共施設（道道）：１２８．４m

4．関連する事業

事業名	事業主体	事業期間	事業費（百万円）	事業内容

Ⅳ　事業の実施状況

1．進捗状況

（1）事業実績及び今後の計画

施工（工種）区分	工事内容	H26	H27	～	R01	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	進捗状況	事業費（百万円）
				L=70.3m						L=58.1m				
海岸護岸	L=128.4m		←				→	←				→	61%	1,283
測量設計費	1式	←					→	←				→	56%	133

（2）進捗状況

事業費の増加により事業期間を延伸しているが、事業はおおむね予定どおり進捗しており、今後の実施に当たっても特に大きな支障はなく、事業期間の延伸後は予定どおりR8年度（2026年度）に完了する見込み。

b

a：概ね予定どおり実施している。
b：事業計画・期間等を変更し実施する。
c：問題が生じ、実施に支障をきたしている。

2．事業効果

経済効果の内訳（百万円）項目	R3現在	費用の内訳（百万円）項目	R3現在	B／C R3現在
浸水防護便益	2,333	総事業費	1,352	
		維持管理費	114	
合計（B）	2,333	合計（C）	1,466	1.59

前回算定年度　：－
前回算定時B/C　：－
変更理由　：－

備考
・「海岸事業の費用便益分析指針（改訂版）（R2年（2020年）4月一部更新）（農林水産省・国土交通省）H16（2004年）.6」に基づき算出
・便益、費用ともにR3年（2021年）に現在価値化
・費用は、現在価値化及び50年間の維持管理費の計上により総事業費と異なる。

3．コスト縮減などの取組

取組の項目	取組内容	縮減額（百万円）
発生材の有効利用	既設消波ブロックを波除工、消波工として転用	22

Ⅴ 評　価

1．必要性	●本事業は、海岸保全施設背後にある民家などを高潮による浸水被害から防護するため、越波対策を講じるもの。 ●事業の必要性に変化はなく、着実に事業の推進を図る必要がある。
	a　a：事業の必要性に変化はなく予定どおり事業を推進する。　b：着工後の状況変化により事業計画の変更が必要である。 c：着工後の状況変化により事業推進の是非を判断する必要がある。
2．事業を推進する上での課題	（1）環境上の配慮及び課題 ●海岸護岸沖合はコンブの良質な漁場及びサケ定置漁でも船揚場を使用しているため、施工時期を調整し整備を行っている。 ●施工箇所に住家が近接するため、工事による騒音・振動の抑制に配慮し工事を実施することとしている。
	（2）事業推進に対する住民の動向 ●高波浪時の越波や津波に伴う浸水被害の不安があるため、地元住民より早期完成を強く要望されている。
	（3）その他の課題 ●特になし
3．事業達成の見込み	地元調整も円滑に進んでおり、R8年度（2026年度）の完成に向け順次事業の進捗を図る予定。
	a　a：現時点では事業の進捗に影響する課題はなく、達成が見込まれる。 b：課題はあるものの達成は可能である。 c：大きな課題があり達成には相当の困難が予想される。
4．対処方針	事業の必要性に変化がなく、地元からの早期完成要望も受けているため、R8年度（2026年度）の完成を目指し事業を継続する。
	a　a：継続　b：終了　c：休止　d：中止

事業期間変更の有無	有	事業費変更の有無	有	事業内容変更の有無	目的・規模等に係る変更	左記以外の変更
					有	無

Ⅵ 備　考

1．評価履歴	事前評価：　該当なし 再評価　：　該当なし
2．その他の取組事項	

補足資料

Ⅶ 事業計画変更

事業経過		再評価	事業採択	着手	変更年度	完了予定	経過年数	事業費	総事業費(a)	道負担額	当該年度事業費	累計事業費(b)	進捗率(b)/(a)
	事前評価又は当初		H26 (2014)	H26 (2014)		H36 (2024)			635	286			
	変更①	1回目	H26 (2014)	H26 (2014)	R3 (2021)	R8 (2026)			1,416	637	28	859	61%
	変更②												
	変更③												
	変更④												
	変更⑤												
	変更⑥												
	変更⑦												
	変更⑧												
	変更⑨												
	変更⑩						7						

変更理由・内容	変更①：事業費の変更 ・平成26年度（2014年度）深浅測量成果を用いて断面の検討を行い事業を進めてきたが、H27年（2015年）からH28年（2016年）にかけ、台風・爆弾低気圧等による自然災害を受けたことにより、海底地形等の設計条件を把握するため深浅測量を行った。 その結果、船揚場設置箇所の水深が現計画に対し深くなっていたため、再度、構造検討を行ったところ、船揚場の断面が大きくなりコンクリート量等が増えたことから事業費が増大した。 事業期間の延伸 ・事業費の増額に伴い、残事業の施工期間を精査したことによる完了予定年度の延伸。

事　業　概　要　図

オッカバケ　漁港海岸保全事業（高潮対策事業）

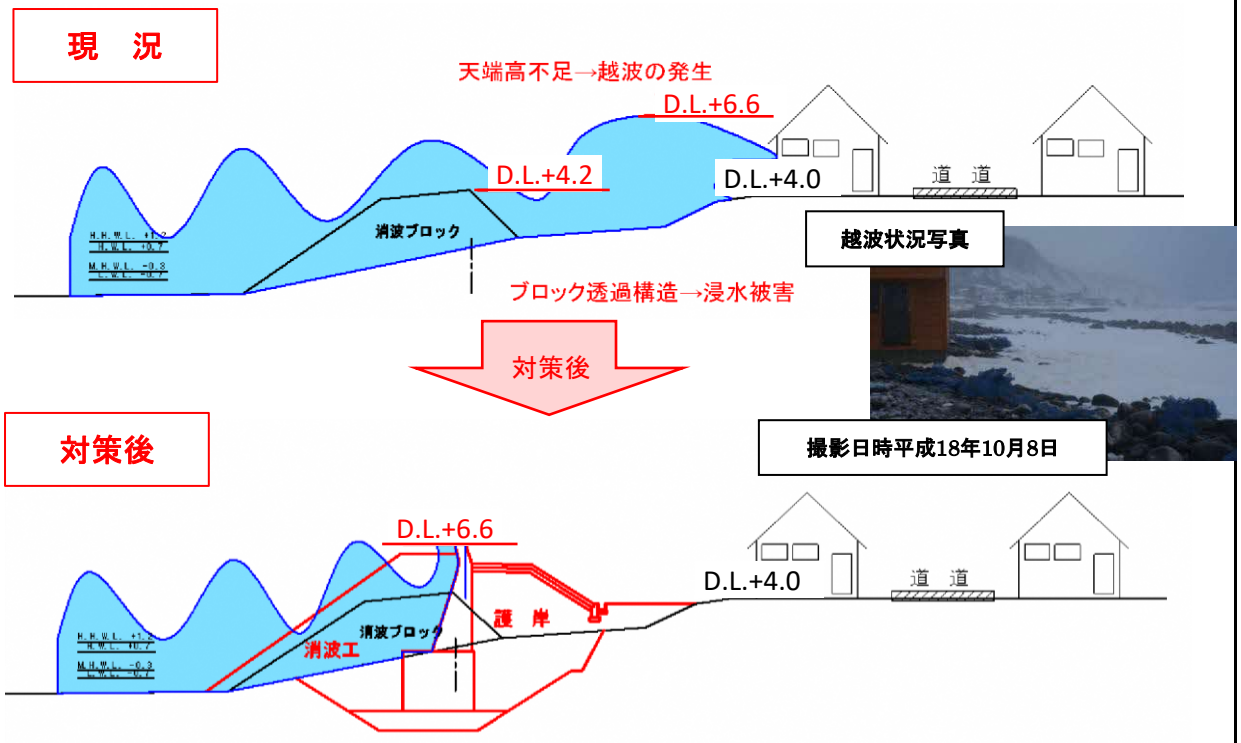
【事業目的・目標・効果】

オッカバケ漁港海岸は根室沿岸の北部に位置し、狭い背後地には民家等が建ち並び、オッカバケ漁港を中心とした集落が形成され、唯一の生活道路である道道知床公園羅臼線が控えている。事業箇所は背後地防護施設として消波堤が整備されているものの施設高が低く近年頻発する爆弾低気圧等による越波が多発し家屋等の損壊被害が発生していることから、護岸を整備するものである。

◆オッカバケ

○事業種別	漁港海岸保全事業（高潮対策事業）
○事業期間	H26年(2014年)～R8年(2026年)
○総事業費	14.16億円
○事業内容	海岸護岸L=128.4m
○事業効果	防護区間：128.4m、防護面積：1.0ha、防護人口：11人 家屋：4棟、その他：8棟、公共施設（道道）：128.4m

【事業の必要性】

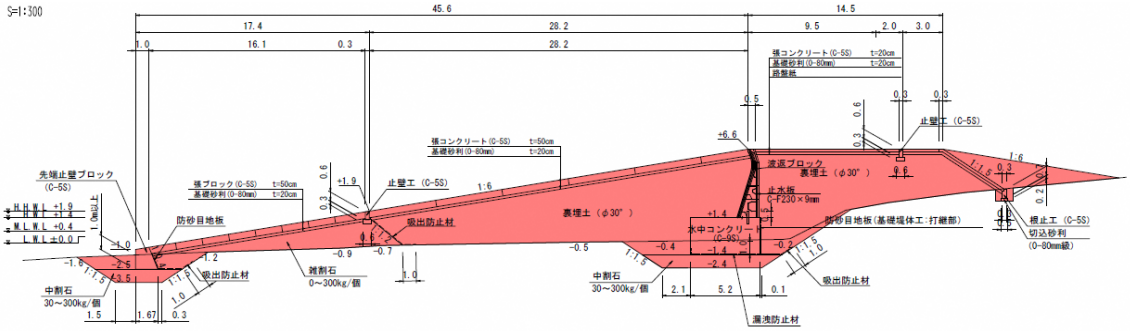


【断面図】

（当初）

計画事業費　　635百万円

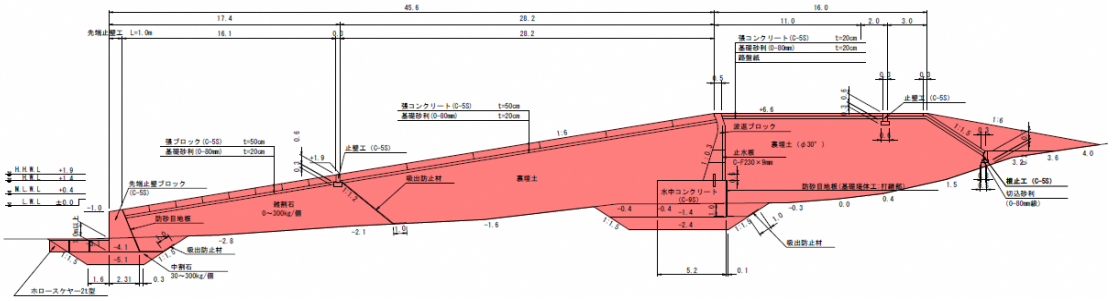
事業期間　　H26(2014)～H36(2024)



（構造見直し後）

計画事業費　　1,416百万円

事業期間　　H26(2014)～R8(2026)



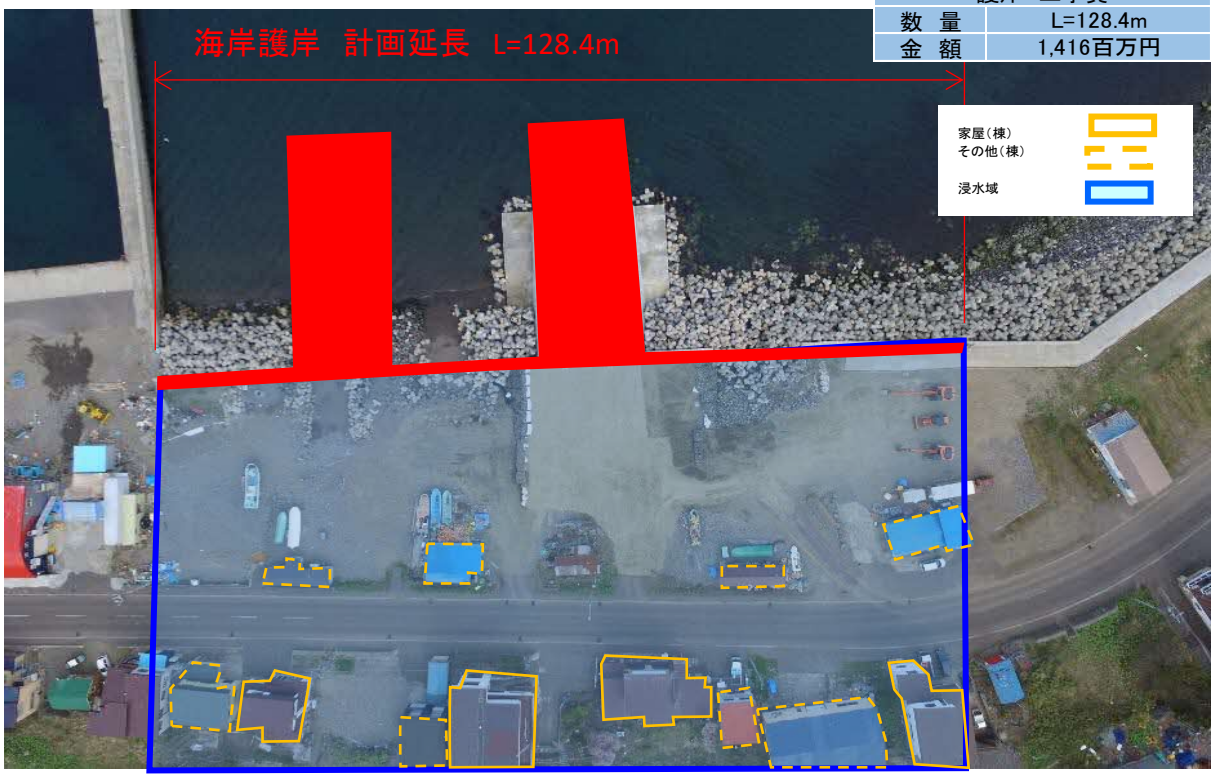
【変更理由・内容】

事業費の変更及び事業期間の延伸

（１）　異常波浪により船揚場設置位置に洗掘がおこり、水深が深くなったため。

【高潮対策事業における受益区域】

護岸　工事費	
数　量	L=128.4m
金　額	1,416百万円



アウトカム				
防護面積(ha)	防護人口(人)	家屋(棟)	その他(棟)	公共施設(m)
1.0	11	4	8	128.4

事業効果				
経済効果の内訳(百万円)		費用の内訳(百万円)		B/C
浸水防護便益	2,333	事業費	1,352	1.59
－	－	維持管理費	114	
合計(B)	2,333	合計(C)	1,466	